

## 第 243 回大阪回生病院治験審査委員会 議事概要

開催日時：西暦 2025 年 3 月 26 日（水） 16:00 ～ 16:20

開催場所：大阪回生病院 6 階大会議室

出席委員：谷口充孝(委員長)、増田大介、大平直人、梶原大資、宮崎正寛、若林麻衣、  
中島清訓、竹綱修、谷口建夫（外部委員）、鈴木ちえ子（外部委員）  
（事務局：金力賢治）

## 【審議事項】

- ① 武田薬品工業株式会社の依頼による特発性過眠症患者を対象とした TAK-360 の第 2 相試験  
安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
 審議結果：承認
- ② 日本イーライリリー株式会社の依頼による LY3502970 の第Ⅲ相試験(GZ01)  
安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
 審議結果：承認
- ③ 日本イーライリリー株式会社の依頼による LY3502970 の第Ⅲ相試験(GZ02)  
安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
 審議結果：承認
- ④ 中等症から重症の活動性甲状腺眼症患者を対象にテプロツムマブ皮下投与の有効性、安全性及び忍容性を評価する第 III 相無作為化二重遮蔽プラセボ対照並行群間比較多施設共同試験  
安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
 審議結果：承認
- ⑤ 慢性（非活動性）甲状腺眼症の日本人患者を対象に HZN-001 の有効性及び安全性を評価する第 III 相無作為化二重遮蔽プラセボ対照並行群間比較多施設共同試験  
安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
 審議結果：承認
- ⑥ nCPAP 療法を受けても日中の過度の眠気が認められる日本人閉塞性睡眠時無呼吸症候群患者に BF2. 649 を経口投与したときの有効性及び安全性を評価する、二重盲検、無作為化、プラセボ対照、並行群間比較、多施設共同試験（パート 1）と、その後の非盲検、長期投与試験（パート 2）からなる第 3 相試験  
安全性情報：「安全性情報等に関する報告書」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
 審議結果：承認

**【報告事項】**

○以下の治験において「試験中断期間における IRB 審議に関する合意書」を参照にして、中断期間中の IRB 審議の取扱いについて報告がなされた。

・武田薬品工業株式会社の依頼によるナルコレプシータイプ 2 患者を対象とした TAK-360 の第 2 相試験

以上